

令和元年度第2回いしかわ森林環境基金評価委員会の概要

1. 日 時：令和元年11月14日（木） 15:45～16:30
2. 場 所：石川県庁10階 1002会議室
3. 出席状況：委員7名
4. 議 題：（1）令和元年度第1回いしかわ森林環境基金評価委員会の概要
（2）令和元年度いしかわ森林環境基金事業評価報告書（案）
5. 委員会議事要旨（委員の主な意見等）
 - （1）令和元年度第1回いしかわ森林環境基金評価委員会の概要
特になし
 - （2）令和元年度いしかわ森林環境基金事業評価報告書（案）
特になし
異議がないことから、原案どおり報告書とする。

その他

- 【委 員】緩衝帯の維持管理について、農村ボランティアやNPO等の住民以外のサポート体制はあるのか。
- 【事務局】森林所有者や地区の方々等が協定を締結し、地区住民で管理していただくことが基本となっている。ただし、農村ボランティアなどを活用して維持管理している事例もあることから、県としてはいろいろな管理の仕方を検討していきたい。
- 【委 員】放置竹林の除去等の事業の普及やとりまとめは誰が行なっているのか。
- 【事務局】事業の普及は県で実施しており、市町や森林組合等を通じ、地元の要望をとりまとめて実施している。
- 【委 員】伐採した竹が現場に集積されているが、いつまで残置しておくのか。
- 【事務局】集積した竹は、現場で残置し、土に戻すこととしており、搬出に関する経費などは計上していない。
- 【委 員】農薬を使用して竹の再生を防ぐ取り組みもあったと思うが、場所によって施工方法に違いはあるのか。
- 【事務局】農薬を使用した取り組みは試験的に実施している方法であり、薬剤の残留などをモニタリングしながら数か所で施工している。基本は今回の現地視察でも見ていただいた機械で刈払う施工がほとんどである。
- 【委 員】緩衝帯整備は希望する町会が多いと思うが、申し込み順などの対応をしているのか。
- 【事務局】市町で優先順位をつけており、危険度の高い場所から実施している。